

公表日

2025年 1月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 川崎港町教室

保護者等数(児童数) 35名(37名) 回収数 34件(割合97%)

		チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	6	0	3	・実際に利用しているのを見ていないので何とも言えない。 ・人数によると思いますが高学年には狭いかもかもしれません。	・広いとは言えないスペースですが、活動を工夫してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	2	0	7	・活動中あまり見たことがない	・今後もご満足いただけるように適切な人数で支援してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	1	0	8	・あまりじっくり見たことがないのでわかりません。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	28	0	0	6	・あまりじっくり見たことがないのでわかりません。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	1	0	3	・レポート等を見てそう思います	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	0	0	1	・レポート等を見てそう思います	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	1	0	1	・レポート等を見てそう思います	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	0	0	3	・レポート等を見てそう思います	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	1	0	1	・レポート等を見てそう思います	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	2	0	0	・イベントなど用意されていて良いと思いました。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	10	13	・聞いたかどうかもわからない ・無くても大丈夫です ・交流が少ないと思う	・子どもの特性や必要性を鑑みて積極的に行っていませんが、機会があれば検討してまいります。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	1	0	0		・契約時に行っております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	0	0	1		・契約時に行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	8	13	・無くても大丈夫です ・情報提供をもっとほしいと思います	・個別に対応しておりますが、研修会や情報交換の機会については検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	33	1	0	0		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	1	0	0		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1	0	0		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	13	14	・特に希望していない ・保護者同士の交流の機会がほしいです。同じ子を持つ親として色々情報交換などできたらと思う。 ・保護者同士の意見交換や先輩の親御さんから経験談を聞かせていただきたい。	・父母会組織はございません。交流の機会についてはご希望に添えるよう検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1	0	1		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	0	0	1		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33	0	0	1		・今後も新聞やInstagramでお子さんの様子を発信してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	4		・個人情報の取扱いについては今後も配慮してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	0	0	5		・緊急時の対応は契約時にお伝えさせていただいております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	0	0	4		・今後も災害に備えて定期的に訓練を行ってまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	1	0	3		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1	0	6		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32	1	0	1		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	2	1	1		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	0	1	0	・いつも本当にありがとうございます ・もう少し外出イベントがほしい（参加の場合料金が発生しても良いと思うのですが）障害があると家で出かけるのが難しくなったりするので。 ・利用時間18時までetc延長があれば嬉しいです。（6時間授業時は1時間ほどしか在室しないので）	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 ・運営制度的な件に関しては難しいところもありますが、活動内容については検討してまいります。

公表日

2025 年 1月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 川崎港町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	・個別学習の際はパーテーションを使用したり、遊ぶスペースを区切ったりしている。	・10人以上の活動には十分な広さとはいえない。高学年の子が増えると手狭になる。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2		・急な体調不良による欠勤などには補充という対応ができていない。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・コーナガード等徹底している。	・バリアフリー化はされていないので車イスには対応していない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・日常の清掃、アルコール消毒、換気を実施している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	・学習室（クールダウン室）を設けている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	・朝礼や昼礼、ミーティングで情報を周知、改善を常に行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		・面談、アンケートをもとにフィードバックを行う。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・管理者との面談や日常のミーティングの実施が出来ている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		・外部による第三者評価は行っていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・新人研修の実施や強度行動支援者研修に行っている。	・救急救命講習の取得を検討したい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・児童の発達段階に応じて都度検討されている。	・今後も適切に行っていく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・児童の発達段階に応じて都度検討されている。	・今後も適切に行っていく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	・カンファレンスを行い適切に情報共有と検討がされている。	・今後も適切に行っていく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・紙ベースや毎日のミーティングで情報共有されている。	・今後も適切に行っていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	・標準化されたツールは使用していないが、毎日のミーティングで必要に応じて共有している。	・今後も適切に行っていく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		・今後も適切に行っていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・児発管を中心に職員で意見交換を行った上で作成している。	・今後も適切に行っていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・季節感のあるプログラムや外出・製作等バランスよく子どもたちの飽きないプログラムになるよう工夫している。	・今後も適切に行っていく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・個別課題については児童の習得に応じて適宜変更している。	・今後も適切に行っていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・朝礼と昼礼を行い児童の情報を共有している。	・今後も適切に行っていく。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	・送迎の都合で当日の振り返りの共有は難しいが、業務日報やSNS等で共有している。	・今後も適切に行っていく。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・個別の活動記録、連絡帳、業務日報等、毎日記録をしている。	・今後も適切に行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		・今後も適切に行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	3		・今後も適切に行っていく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	1		・今後も適切に行っていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2		・セルフプランの児童しかいないので、サービス担当者会議はない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3	・必要に応じて学校と連携や情報共有している。	・今後も適切に行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0		・今後も適切に行っていく。 ・学校の次月の予定（下校時間）が出るのが月末であったり月初の場合もあり困っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4		・今後も適切に行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	7		・事業所への移行実績はまだない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5		・特に行っていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		・子どもの適性を考慮し、積極的には行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		・地域性もあり招集される機会がない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・送迎時や面談時、連絡帳、LINE等で日常的に情報共有している。	・今後も適切に行っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6		・必要に応じて行っていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	・契約時に行っている。	・今後も適切に行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・面談等で確認している。	・今後も適切に行っていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・今後も適切に行っていく。	・今後も適切に行っていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・今後も適切に行っていく。	・今後も適切に行っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7		・父母会は組織はない。交流の機会についてはご希望に添えるよう検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1		・今後も適切に行っていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・新聞やインスタグラム等で様子を発信している。予定等は公式LINEを使用して周知している。	・今後も適切に行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		・今後も適切に行っていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		・今後も適切に行っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		・地域のお祭り等があれば参加している。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		・訓練等を行っているが、緊急時の引き渡し訓練は行っていない。 救急救命の取得を検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		・今後も適切に行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・契約時や面談時に確認している。	・今後も適切に行っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・指示書やエビペン所持の児童は現状ない。	・今後も適切に行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		・今後も適切に行っていく。 ・物が多いので不要なものは適宜処分していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		・今後も適切に行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・業務日報において毎日確認している。	・今後も適切に行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		・今後も適切に行っていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	2	・必要な場合は保護者と確認書を交わり、適切に支援している。	・今後も適切に行っていく。